

阪神高速を地域への入口に

「阪神高速おでかけパス」でつなぐ人・地域・新たな移動価値

阪神高速をお得に利用できる「阪神高速おでかけパス」。

この取り組みは今、高速道路の利用促進にとどまらず、地域へ足を運び、その魅力を知り、楽しんでいただくための仕組みへと進化しています。東大阪市の石切参道商店街や、道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢との連携をはじめ、おでかけパスを通じた地域との共創も広がっています。今回は、東大阪市、道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢、阪神高速の担当者が、「阪神高速おでかけパス」でつながる人・地域・新たな移動価値について語り合います。



阪神高速道路株式会社
営業部 利用促進担当部長
(兼)DX推進本部 コネクティングサービス担当部長
古木



東大阪市 都市魅力産業スポーツ部
国際観光室 総括主幹
日高さん



株式会社北神地域振興
道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢
駅長 中島さん

「出かけるきっかけをつくる道路」へ

「阪神高速おでかけパス」ってどんなパス？



古木「阪神高速おでかけパス」(以下、おでかけパス)には、大 阪周遊コースと神戸周遊コースの2コースがあり、土日祝限定で、選択したエリア内の阪神高速を定額料金(普通車1,650円)で1日乗り放題となるお得なパスです。

2008年に販売を開始し、2024年からは「おでかけパス」に地域のおでかけコンテンツや施設利用券などを組み合わせた、「セットプラン」(普通車1,450円+各コンテンツの利用料金)の販売も始めました。連携先は、2024年度の2施設から、2025年度は16施設、2026年度は26施設へと広がっています。



これまで阪神高速は、主に目的地までの移動手段としての役割を担ってきました。しかし今後は、おでかけパスを通じて地域の魅力や体験とつな

がることで、単なる移動手段にとどまらず、新たな地域に出会うきっかけを生み出す存在でありたいと考えています。

「セットプラン」で地域の魅力を再発見！

連携によって、どのような人の動きが見えてきましたか？



日高 阪神高速さんから連携のお話をいただくまで、東大阪市では、高速道路を使って東大阪へ観光に来ていただくという発想はあまりなかったんです。というのも、市内は鉄道網が充実しており、これまでの観光の取り組みも、主に鉄道でのアクセスの良さを活かしてきたからです。

ところが、「おでかけパス」の利用者データを見ると、幅広いエリアから多くの方が車で東大阪を訪れていることがわかりました。定額のおでかけパスを使えば、少し遠方からでも高速料金を気にせず来ていただけるんですね。これは、私たちにとって新しい発見でした。

また、レトロな雰囲気がSNSで話題の石切参道商店街では、若い世代を中心に、食べ歩きや占いを楽しむ姿がよく見られます。お得なクーポン付きのおでかけパスは、そうした方々に東大阪を訪れていただくきっかけとしてもぴったりです。



「おでかけパス」のセットプラン「お得なクーポンde石切参道商店街」を現在、発売中。



詳しくは、こちらから



中島 道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢の周辺には、緑豊かな里山が広がっています。こうした、まだ広く知られていない地域に着目し、連携のお話をいただけたことをとてもうれしく思っています。

当園は広いため、これまでは入場ゲートに近い直売所などに立ち寄るだけで帰られるお客さまが多いという課題がありました。そこで、阪神高速の謎解きゲームのスポットとしても連携しています。謎解きを目的に来園された方には、ゲームを楽しみながら園内をぐるりと巡っていただけるようになりました。

同じ場所でも、訪れる目的が一つ加わることで、お客さまの過ごし方が変わる。その効果を実感しています。また、園内だけでなく周辺地域へも足を延ばしていただくきっかけになればと期待しています。



リアル謎解きゲーム「阪神高速謎ラリー」
詳しくは、こちらから



人の動きが変わると、地域にはどのような可能性が生まれますか？

古木 お二人のお話にあるように、地域には、まだ十分に知られていない魅力が数多くあります。阪神高速の沿線にも、観光施設や商店街、ものづくり、自然、文化など、車でのおでかけと相性の良い地域資源が豊富にあります。一方で、どれだけ魅力があっても、訪れるきっかけがなければ、その価値はなかなか伝わりません。

阪神高速には、高速道路ネットワークを通じて広域から人を運ぶ力があります。自治体や観光施設には地域の魅力があります。おでかけパスは、お得な料金設定やセットプランによる目的地の提案を通じて、それぞれの強みを結び付け、これまで接点のなかった人と地域をつなぐ役割を果たしています。

一つの施設を訪れるだけでなく、その周辺にも足を延ばしていただくことで、地域内の周遊や新たな消費も生まれます。そうした人の流れをつくり、地域のにぎわいや活性化につなげていくことが、この連携の大きな可能性だと考えています。

今後、阪神高速との連携に期待することは？

日高 東大阪市は、これまで観光地として広く知られてきたまちではありません。だからこそ、モノづくり体験をはじめ、くらしや産業、文化など、今あるまちの魅力を観光に活かそうとしています。

「おでかけパス」で人と地域をつなぐ

とはいえ、観光は人に来ていただいてこそ。阪神高速さんとの連携には、東大阪に新しい人の流れをつくる力があると感じています。「お得なクーポンde石切参道商店街」でもクーポンをきっかけに地元で消費が生まれ、地域経済への効果も感じています。

こうした取り組みを重ね、観光を東大阪市の新たな産業のひとつへと育て、「住んでよし、訪れてよし、稼いでよし」を実現する、東大阪市ならではの持続可能な新たな観光まちづくりをめざしたいと考えています。今後、もぜひ一緒にできればと期待しています。

中島 道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢がある大沢町は、豊かな自然に恵まれています。また、少し足を延ばせば、北区内には農村歌舞伎舞台などの独自の文化も残っています。自然は四季折々に異なる表情を見せてくれるので、一度訪れた方にも、季節を変えて何度も足を運んでいただけたと思います。こうした地域のすばらしさは、これからの時代に、改めて価値を見いだ

していただけるのではないのでしょうか。そうした地域の楽しみ方を、今後も阪神高速さんとともに伝えていきたいと考えています。

さらに周辺には、神戸三田プレミアム・アウトレットをはじめ、ショッピングやレジャーを楽しめるスポットも数多くあります。当園を訪れるだけでなく、周辺にも足を延ばしていただくことで、地域全体のにぎわいにつながればうれしく思います。

阪神高速として、今後どのような展開をめざしていきますか？

古木 今後は、連携する地域をさらに広げ、特色あるセットプランのラインナップを充実させていきたいと考えています。個々の施設との連携にとどまらず、商店街や道の駅、観光施設、地域資源とも結び付きながら、阪神高速の沿線地域全体へ面的に取り組みを広げていきたいと思っています。クーポンに加え、地域ならではの体験や、「行ってみたい!」と思っていた企画も充実させていく予定です。選択肢が増えることで、これまで知らなかった地域を訪れ、新たな魅力に出会う機会も増えていくと考えています。

阪神高速は、地域に根差し、地域とともに歩む企業です。これからも「おでかけパス」を通じて、人と地域をつなぎ、新たな移動価値を創出していきたいと考えています。

そして、高速道路を利用して地域へ足を運び、その地域の魅力に触れ、また訪れたいと思っていただく。そんな好循環を生み出しながら、地域への入口として、地域とともに成長していきたいと思っています。